

会議結果（概要）

会議の名称	第7回エリアプラットフォーム構築会議		
開催日時	令和4年3月22日（火）午前10時00分～午前11時40分		
開催場所	朝霞市役所 別館5階 大会議室（手前）		
出席者	<p><u>プラットフォーム構成員17名</u> 小嶋（埼玉大学大学院 准教授） 山崎（NPO法人スマイルあさか理事長、朝霞駅前商店会 会長） 滝澤（コトノハコ マネージャー） 木本（ダマヤ・カンパニー(株)代表取締役、(株)シーナタウン取締役） 松尾（朝霞市自治会連合会 会長） 佐藤（富士見町内会） 加藤（埼玉縣信用金庫 朝霞支店 支店長） 青木（朝霞市商工会 事務局長） 早川（朝霞市文化・スポーツ振興公社 主幹） 關野（前副市長） 戸田（（一社）ランドスケープアーキテクト連盟 会長） 笠間（朝霞市都市建設部長） 宇野（朝霞市審議監兼都市建設部次長兼まちづくり推進課長） 村沢（朝霞市都市建設部次長兼開発建築課長） 長島（朝霞市道路整備課長） 大塚（朝霞市みどり公園課長） 清水（朝霞市市民環境部長） 益田（朝霞市市民環境部次長兼地域づくり支援課長） 塩味（朝霞市産業振興課長） （順不同）</p> <p><u>事務局8名</u> 朝霞市都市建設部まちづくり推進課 ほか</p>		
次第	<p>1 報告事項 （1）令和3年度収支報告</p> <p>2 議題 （1）エリアプラットフォームの構築について ・会長、副会長と構成員 ・規約（最終案） （2）エリアビジョン（ベータ版）について （3）未来ビジョン実施における企画提案</p>		
公開・非公開	非公開	傍聴者	—

【会議概要】

1 議題

(1) 令和3年度収支報告

- 朝霞市から、今年度の収支額と支払明細、及び来年度の予算額を報告した。
- ・今年度の収入は市一般財源の1,000万円（うち、国の補助金500万円）、支出は992万5680円。来年度予算は全額国の補助金となる。

2 議題

(1) エリアプラットフォームの構築について

- 朝霞市から、エリアプラットフォームの構成者名簿と規約の最終案について説明した。

- ・規約はこの最終案で確定とし、令和4年4月1日付けの施行をもって、正式にエリアプラットフォームを構築する。

(2) エリアビジョン（ベータ版）について

- （株）戸田芳樹風景計画から、前回に続き、エリアビジョン（ベータ版）の素案に関して説明した。

- ・8つのプロジェクト案は、市民意見募集や商店会のアイデアコンテストでこうして欲しいと数多く寄せられた意見を中心にまとめたもの。

(3) 未来ビジョン実施における企画提案

- コトノハコから、来年度の実証実験の企画提案を行った。

- ・4月以降、シンボルロードやエリア内の公共空間で、小規模の実証実験を月に1回、日曜日などに開催を考えている。
- ・企画の内容は、芝生広場で早朝からヨガやピラティス、コーヒー・焼菓子などを、心地よい空間演出とともに提供するもの。
- ・企画の目的は、公共空間の利活用事例作りやイベント開催及び出店時のルール作り、令和5年度からの民間自走時の事業ヒントを探ることとする。
- ・今後の企画としては、他に、体を整える系のコンテンツ、クラフト品販売、お菓子・軽食販売、キッチンカー・フードトラック、音楽コンテンツ、フォトスポット設置などを考えている。

以上の報告を受けて、質疑応答と意見交換を行った。

問い合わせ先
(事務局)

朝霞市都市建設部まちづくり推進課都市計画係

担当者 西村・高橋

電話番号 048-463-1111 (内線: 2513)

eメール mati_zukuri@city.asaka.lg.jp